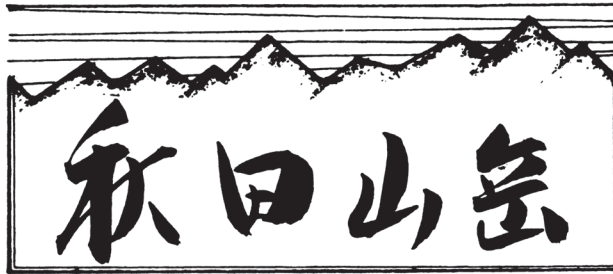


2023



令和5年5月 発行

No. 126

公益社団法人 日本山岳会秋田支部

秋田市土崎港北
5-3-40 鎌田方

TEL・018-846-8150

発行 秋田支部

編集 鈴木裕子

令和5年度秋田支部総会

令和五年度秋田支部総会開催

令和五年度日本山岳会秋田支部
通常総会は、四月十五日(土)午
前十一時から、秋田市大町協働ビ
ル四階会議室に於いて開催され
た。会員四十八名中、出席者二十一
名、委任状による会員二十四名で
開催された。

鎌田副支部長の進行で、佐藤支
部長の挨拶は、コロナも収束して
山ブームが起きてきてほしい。国
体の登山協議はクライミング中心
となつている。山との関わり方、
山々の楽しみ方も変化し、低山歩
きも好まれる近頃、地域の山々に
携わつて山を楽しんでほしい、ま
た、日頃の支部運営ご協力に感謝
するとの挨拶があつた。

続いて三浦眞六委員を議長に指
名して、案件の審議が行われた。
案件一 令和四年度の事業報告
を鎌田副支部長が説明。

総会は四月二十三日、北部市民
センターで開催。役員会は二回、
事務局会議を八回行った。

支部山行は、春は山岳古道調査
を兼ねて白木峠へ。秋は乳頭温泉
郷の散策を実施。

太平山山開き市民登山はコロナ
禍のため計画されず、東北・北海
道地区集会も計画されなかった。

山岳古道調査について、白木峠
の調査は支部山行を兼ねて、秋田
街道は岩手支部と合同での調査、
鳥海山古道は本会の調査員と共に
行った。

また、年次晩餐会も開催され、
コロナ過で中止となつていた行事
も開催されるようになってきた。

公益的の事業として、太平山前岳
歩道整備、支障木の処理、ベンチ
補修等を行った。

支部合同会議、山岳古道調査会
議、支部・委員会等への説明会は
オンライン会議で行われた。

会員確認では、新入会員は二名。
案件二 令和四年度の収支決算を
後藤会計担当が報告。

大橋会計監事より三月三十一日
に行われた会計監査の結果、関係
書類が適切に処理されていること
が報告され、令和四年度の事業報
告及び決算は承認された。

案件四 令和五年度の事業計画案
を鎌田副支部長が説明。

役員会は年三回を予定。事務局
会議は随時。

春秋の支部山行に加え、山の日
山行を行いたい。

公益的の事業としては、太平山歩
道整備を行う。コロナ禍のため、

しばらく中止となつていた太平山
山開き市民登山は、例年六月に実
施していたのが七月になる予定と
佐々木民秀顧問から説明があつた。
また、東北・北海道地区集会が
七月に青森支部担当で開催。秋田
支部からは八名参加予定。
会報の発行は四回を予定。
山岳古道調査は、報告書の取り
纏めに入り、本会に報告する予定。



令和5年度支部総会集合写真

案件三 令和五年度予算については、ほぼ前年同額であることを、後藤会計担当が説明。令和五年度の事業計画、予算案ともに承認された。

記念集合写真撮影後、二十名の参加で、四年ぶりに懇親会が開催された。

懇親会は、佐々木民秀顧問の乾杯の発生で始まり、久しぶりの懇親会は山情報の交換、お互いの近況等、賑やかであった。

午後二時すぎ、遠路、総会懇親会に出席した田沢湖町の高橋吉一委員の締め乾杯でお開きとなった。

- 出席者 佐々木民秀 佐藤和志 今野昌雄 高橋守 柳田勇悦 鈴木裕子 鎌田倫夫 堀井弘 佐藤博 高橋忠雄 大橋忠雄 柴田勲 三浦眞六 安藤金栄 熊谷光子 佐藤英實 後藤浩二 三浦昭男 高橋吉一 鈴木加代子 小松芳美 (高橋雄悦)

永年会員

おめでとうます

福田光子 会員 秋田市

(No. 七五八五)

福田会員は昭和四十八年に入会令和四年度で在籍満五十年となりました。



おめでとうます

今野昌雄 顧問

秋田県山岳・スポーツクライミング連盟顧問

公益社団法人

日本スポーツ協会公認

スポーツ指導者賞を受賞

長年にわたって山岳登山選手の育成、組織の発展に尽力。

○会計監査

三月三十一日(金)、午前十時から、秋田市北部市民センター「キタスカ」二階会議室で開催。

令和四年度会計監査を実施。関係書類が適正に処理されており、正確であると承認された。

出席者

- 会計監事 柴田勲 大橋忠雄
- 会計担当 後藤浩二
- 副支部長 鎌田倫夫
- 顧問 鈴木裕子

会員の動静

退会 鈴木美代子(令和五年三月)

全国山岳古道調査

オンライン会議報告

小松芳美

全国古道調査会議が、四月五日十九時から本部及び全国各支部が参加し、zoomによるオンライン会議で開催された。

会議では担当者が、レジュメに従い七項目の説明と質疑応答が行われた。

【会議要旨】

一 手ぬぐい

第一弾の手ぬぐいは完売。第二弾の手ぬぐい千本を追加作成しており、欲しい支部には一本五百円でお譲りする。

二 会計報告

古道調査費の大半は、ホームページ(以下「HP」という。)等に費消される予定であり財政的に厳しい。

三 原稿などの進捗状況

各支部より徐々に報告が寄せられており、今後は内容の確認作業に入る。

四 概要等の作成依頼

HPに古道の概要を掲載予定であり、各支部には、「古道の概要」、「写真」、「略図」の三点を四月末日までに報告していただきたい。

五 HPの公開

例として「中山道和田峠」を掲載している。今後は、会員が作成途中のHPを閲覧できるようにしたい。

六 熊野古道集中山行

一〇周年記念事業「全国山岳古道調査」のスペシャルイベントとして来年六月に予定している。

七 廃道情報の依頼

国土地理院からの依頼であり、できる範囲で報告されたい。廃道の判断は地理院が現地調査し行う予定。

【質疑】

◎ 各支部へ、古道調査への補助金はないのか？

▲ 本部でも自費出張しており難しい状況。

◎ 危険な箇所の記事方法は？

▲ コラム等にその旨を記載されたい。

◎ 各支部への具体的な対応は？

▲ 五月ころ、各支部とズームで進捗状況等の確認をした。

秋田支部出席者

三浦昭男 小松芳美

※全国山岳古道調査

日本山岳会百二十周年記念事業調査期間は令和三、令和七年度全国で百二十の古道を調査予定

おめでとうございます

長岩嘉悦名誉顧問



秋田県スポーツ賞
栄誉賞を受賞

六十年に渡り、焼石岳東成瀬コースの開発整備に尽力。県自然保護課と東成瀬村役場の協力を得て、道標の設置に積極的に協力。焼石岳の五合目（釈迦サング）六合目（与治兵衛）を命名し、地図やガイドブックに採用されている。

「山と渓谷」「岳人」「東北の山アルペンガイド」等に「焼石岳」を執筆紹介し、全国的に「焼石岳」のPRに努めた。

山岳に関する知識、技術、指導性に富み、高体連の登山指導や町民登山で焼石岳を案内し、人格的にも円満で高い品性と教養を持ち、明晰な指導者である。

東成瀬村「なるせ児童館」に七二〇点に及ぶ自然や山に関する図書、写真集を寄贈。

著書 智者愛水仁者乐山

焼石岳に魅せられて

山と友(共)に歩いて70年

共書 新日本山岳誌

(三月十三日 秋田市メトロポリタンホテルで授賞式典)

全国山岳古道調査

白木峠調査

小松 芳美

① いざ調査へ

五月十七日、計画した時は雨の心配があったが、晴れ男の鎌田副支部長の応援と鈴木顧問のサポートを得て快晴の白木峠地へ出発。

② 今回の調査目的
調査では、GPX、各地点での距離、標高及び緯度経度などのデータ採取と写真撮影などを目的とした。

③ 調査はさておき
今回の山行には高橋雄悦さんが参加。個人的には高橋さんと親しくなれる機会でもあった。

山行中「くっく」と鳥の声、私はヤマバトかな？と思ったが、高橋さんは「ツツドリです。」と声だけ聴いて鳥の名を覚えてくれた。他にも花の名等を教えてくれた。(博学な人だな。)

④ 調査結果

秋田側から岩手側へのGXデーターなどを無事に採取できた。六四八六mに渡る古道はそれぞれに趣がある。特に岩手側は随所にポイントもあり気持ちよく歩けた。

三九七七mに渡る秋田側は約六割が作業道を歩くことになり、

少し残念な気持ちではあるが、行政も看板を設置するなど力を入れてくれている。
設置物に熊のひっかき傷などが随所であり、熊対策には注意が必要である。

⑤ おまけ

今回の調査では、鈴木顧問が車両手配のサポートしてくれた。

車中の話で「藤の花がきれいだね。でも藤が生育することは人間の手が入っていない、巻き付かれた木は枯れる、山が荒れている」と言うことだと本に書いてあった。」と言っていた。

沿線では藤がきれいであるが、複雑な気持ちとなった。

⑥ 参加者 鎌田倫夫、高橋雄悦、小松芳美、サポーター 鈴木裕子



快晴の白木峠山頂で

二手ノ又登山口のベンチと前岳山頂のベンチを補修



綺麗になった
二手ノ又登山口のベンチ

共に経年劣化が進み撤去も考えていた両ベンチであるが、二手ノ又登山口のベンチは昨年十月二日、堀井弘さん、高橋忠雄さんがペンキ等で補修。
前岳山頂ベンチは、昨年十一月十一日、鎌田倫夫さん、小松芳美さん、協力者の小野さん、戸松さん、斎藤さん等が支障木を利用して補修。奥岳を望める展望地に移動して設置。



支障木を利用して補修された前岳山頂ベンチ

白神山地世界遺産地域の管理
に関する懇談会 歩仁内 昌樹

東北地方環境事務所を事務局とする白神山地世界遺産地域連絡会議が主催する当懇談会は、令和元年度に始まり青森県と秋田県を交互にして、今回で三回目の開催は二月二日に弘前市で行われました。

懇談会の内容は、環境省・林野庁・青森県・秋田県・鯉ヶ沢町・深浦町等の各行政機関から遺産地域の保全や適正な利用に関する取組状況の説明と、主催者と地域住民及び日本山岳会青森支部や青森県勤労者山岳連盟等との懇談からなる二部構成でした。

白神山地全体の面積は青森・秋田両県あわせて約十三万ha(このうちの約一万七千ha遺産地域)にもなります。その広大な地域は両県の多くの自治体にまたがっており、各行政機関がそれぞれ異なる法律・条例を所管し、地域住民もまた保全と振興といった観点から様々な意見を持っています。

このような状況で関係者が一堂に集まり、情報や意見を交換することはとても重要なことであると思われました。

今年白神山地が遺産登録されて三十年を迎えます。私はあきた白神認定ガイドになってまだ二年

目の駆け出しではありませんが、この懇談会に参加し、『世界遺産白神山地』の価値や魅力を改めて認識するとともに、その素晴らしさをより多くの人に伝えたいと考える機会にもなりました。

最後にこのような懇談会開催の案内をしてくれた秋田支部事務局には感謝しております。

支部・委員会合同説明会

一月十三日十九時からZoomによるオンライン会議で開催。

内閣府に提出の事業区分等の改定に伴い、記入様式の変更があり、令和五年度予算、事業計画、令和四年度の事業報告書等の記載説明が行われた。

- 本会担当者 事務局 柏澄子
 財務担当 長嶋泰弘 他
 秋田支部 後藤浩二 三浦昭男
 鈴木裕子

韓国山岳慶南支部

慶南支部一月の総会で、支部長に鄭 在恩(チョン ジュエン)氏が就任。

国内登山や海外トレッキングの経験が豊富な女性です。
 秋田支部の皆さん、韓国の山々へお越しくださいと伝言がありました。

役員会の開催

三月七日午後一時から、秋田市北部市民サービスセンター洋室6で開催。

鎌田副支部長の進行で、初めに支部長から、令和四年十二月三日に、四年ぶりに開催された晩餐会の報告や八幡平周辺地区の今後についての勉強会について説明があった。

また、日頃の委員皆さんの協力に感謝する、との挨拶があった。続いて、令和五年度総会に提案する案件について協議。

令和四年度事業報告と令和五年度の事業計画(案)を鎌田副支部長が説明。令和四年度の決算、五年度の予算(案)については後藤会計担当が説明。

会計監査は三月三十一日秋田市北部市民サービスセンターで、総会は四月十五日(土)十一時から、協働大町ビルに決定。

コロナ禍も落ち着いてきたことから、四年ぶりに懇親会を開催することになった。

- 出席者 佐藤和志 鎌田倫夫
 後藤浩二 佐藤助雄 柴田勸
 三浦眞六 安藤金栄 三浦昭男
 鈴木加代子
 鈴木裕子 堀井弘 小松芳美

会務報告

○事務局会議

- ・一月三十日午後一時から。会報百二十五号、東北地区集案内、古道調査手ぬぐい等発送。
- ・三月三十一日午後一時から。総会案内等発送。
- ・四月二十一日午後一時から。支部会費納入のお願い、春の山行案内等発送。

- 会場 秋田市北部市民サービスセンター。
 出席者 鎌田倫夫 後藤浩二
 三浦昭男 鈴木裕子 小松芳美

編集後記

桜の開花が例年になく早く訪れ、暑さでたちまちに散ってしまった。テレビ、新聞等で報じられる名所の他に、近くの河川堤防の桜が見事に咲き誇っているのを再発見した年でもあった。

新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが、五月八日から季節性インフルエンザなどと同じ五類に移行した。会合等が自由になったことは嬉しい。

マスク着用も自己判断であるが、私は公共交通機関やスーパー、医療機関では着用している。五類に移行したとはいえ、うがい手洗いは続けてゆこうと思っている。

鈴木裕子